

教師に求められる資質は

- 子どもが好き(情熱)
- 遵法精神がある(コンプライアンス)
- 社会性がある(常識)
- 精神力が強い(忍耐)
- 協調性がある(コミュニケーション)
- 適応性がある(フレキシブル)
- 地球規模の視点がある(グローバル)



当たり前前のごとが当たり前前ができる人

H25.7.4 10:40~12:10
於:神戸大学大学院

南部町教育の挑戦

~「地域協働学校(コミュニティ・スクール)」を核
とした地域とともに歩む学校教育の推進~

鳥取県西伯郡南部町教育委員会事務局
総務・学校教育課 課長 福田 範史

南部町の教育課題は?

☆地域の教育力を生かした学校づくり
→学校のあり方(形)をかえたい
「こんな子どもに育ててほしい」という地域の声

教育活動は学校だけで
完結するものではない

☆子ども達に関わる問題が、
学校だけでは解決が難しい。
→生活リズムの乱れ、コミュニケーション能力の不足、
忍耐力の不足、体験不足問題等

学校力が低下した
ということではない



コミュニティ・スクールの導入

南部町って、どんなところ?

- 平成16年に旧西伯町と旧会見町が合併して「南部町」
- 人口11,604人(3,905世帯)高齢化率31.5%
- 面積114km²
- 予算67億円(うち教育費52億:8%)
- 行政の特色
 - ①人権を柱にした人権のまちづくり
 - ②「がん征伐宣言」
 - ③西伯病院を中心とした医療・福祉のまちづくり
 - ④地域振興協議会による住民主体の地域づくり
- 産業経済
 - ①農業約一千戸、工業17事業所、商業72事業所
- 観光文化
 - ①史跡
 - ②西日本最大級の大山、「とっとり花回廊」

ねらいは「学校改革」!

①子どもたちの生きる力を育む環境づくりをどう進めるのか。

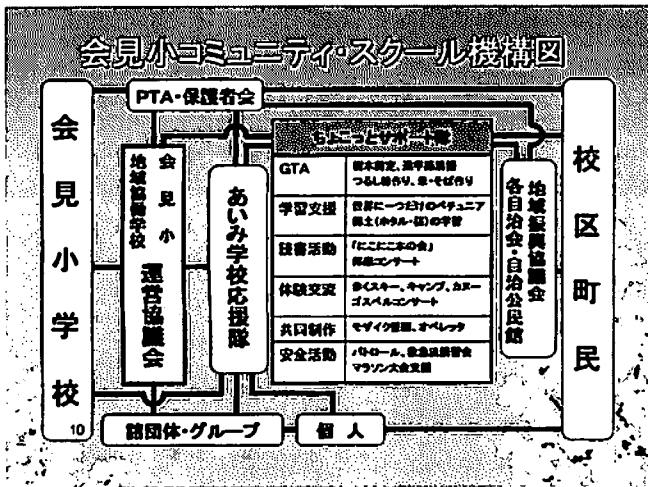
②教育行政を進めるにあたって、
住民の思いや地域の力をどう考え、
どう向き合っていくのか。

南部町の子どもの保育・教育は

- 出生数
76人(H24) - 67人(H23) - 60人(H22)
- 保育園は4園
- 小学校は3校
- 中学校は2校

[南部町教育のめざす姿]

- 「心豊かな 自律した子どもの育成」
- 「心豊かに 共に生きる社会の醸成」
- 「南部町教育の日条例」制定
11月1日は「南部町教育の日」
- 「おせの背中を魅せよう町民運動」



コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度)

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」には、次のようなことが定められています。

- ①教育委員会は、学校を指定して、学校の運営に関して協議する機関として、学校運営協議会を置くことができます。
- ②学校運営協議会の委員は、保護者や地域の皆さんの中から、教育委員会が任命します。
- ③指定された学校の校長は、教育課程の編成などについての学校運営の基本的な方針を作成し、学校運営協議会の承認を得なければなりません。
- ④学校運営協議会は、学校の運営について、教育委員会や校長に対して、意見を述べることができます。
- ⑤学校運営協議会は、学校の教職員の採用などについて、任命権を持つ教育委員会に意見を述べることができます。

あいみ学校応援隊のねらい

- ①教員が学力向上に専念できる条件を整えること
- ②先人としての豊かな知恵や技術を生かし、子ども達に本物体験をさせること
- ③すべての住民がすべての子ども達の全人教育(全人格の育成)に関わる壮大なボランティア活動の先頭に立つこと

コミュニティ・スクールの広がり

◆指定状況

- (幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校)
平成25年4月1日・・・全国で**1570校**
○鳥取県・・・6校
- ・南部町4校(会見小、西伯小、南部中、法勝寺中)
*会見第二小学校は類似組織
 - ・伯耆町2校(八郷小、岸本小)

GTA (PTAの祖父母版) Grandparent - Teacher Association

- ・農業体験学習(米、そば、大豆、さつまいも、野菜作り)
- ・そば打ち、豆腐作り、干し柿づくり
- ・環境整備、安全パトロール
- ・特別支援学級との交流 など

南部町版コミュニティ・スクールとは

- ☐ 子どもは本来「地域の子」である。
その子ども達の育ちに地域住民が深く関わることは地域社会のあるべき姿である。
- ☐ 「より豊かな学び」につながることは当然のことであり「地域に関われた、信頼され、期待される学校」を目指す。

<学校像>

地域と共有する子ども像を目標に、地域と学校が連携(役割分担)して、その責任を果たしていく。

<学校と地域の役割>

その責任を果たすために、学校(校長)が、その教育活動について地域の意見を聞くこともあれば、地域住民に支援を要請することもある。従って、当然、地域社会もその責任を果たさなければならない。

<学校運営協議会は>

学校運営協議会は、保護者や地域社会の願いを結集し、目指す子ども像を明確にするとともに、その実現のために、学校と地域社会(家庭)の役割を整理し推進する。

体験交流部

- ・デイサービス利用者との交流体験
- ・カヌー
- ・歩くスキー
- ・若鳥丸による体験航海
- ・ゴスペルオーブとの音楽交流 など

16

学習支援活動部

- ☒米・そば・いも・大豆・夏野菜作り
- ☒梨の袋かけ、梨・柿の収穫
- ☒干し柿づくり、豆腐づくり
- ☒水盃絵、染物
- ☒そば打ち、わら細工
- ☒戦争体験
- ☒お茶、尺八・箏体験、民謡体験
- ☒昔遊び、俳句づくり

13

地域全体で子どもを育てよう



読書活動部

- ・本の整理
- ・朝の貸し出し
- ・読み聞かせ
- ・長期休業中の図書館開放
- ・学習発表会への参加
- ・図書館の掲示物作成

できることから
できるもんが
できるやに！

めざす子ども像

ふるさとに誇りを持ち、自分の良さを生かし社会でたくましく生きる子ども

共同制作部

- 平成18年度 モザイク壁画
- 平成19年度 オペレッタ 「赤猪岩物語」
- 平成20年度 ふるさとカルタ
- 平成21年度 羊毛タペストリー
- 平成22年度 会見小案内板(道路沿い)
- 平成23年度 めだかの学校 池づくり
- 平成24年度 池プロジェクト

15

課題

- ◆学校応援隊、GTAメンバーの固定化
- ◆継続、マンネリ化（昨年通りは後退）
- ◆小中学校の連携
- ◆情報発信（県内外へ）
- ◆連携のパイプ役（担当者）

22

<p>あいさつ部</p> <p>①さわやかなあいさつ広げ隊 朝、登校してくる子どもたちへあいさつと声かけをしていただくボランティアです。近頃のバス停などでのあいさつ、声かけもします。</p>
<p>どくしょ部</p> <p>①読み聞かせボランティア 木曜日の8時25分から10分間、子どもたちへの読み聞かせや本の紹介をしていただくボランティアです。</p> <p>②図書館支援ボランティア 学校の図書館での読み聞かせや図書館の環境づくりに協力していただくボランティアです。</p>
<p>はたらく部</p> <p>①花と緑の環境ボランティア 月1回の学校のクリーンタイムに、花壇の整備をしたりグリーンカーテンを作ったり、芝刈りボランティアをしたりします。</p> <p>②リサイクルボランティア 6月と11月に小学校のPTAの方とともにリサイクル活動のお手伝いをします。</p>
<p>あそび部</p> <p>①子どもの遊び支援 子どもといっしょに体をつかった遊びのお手伝いをしようと考えています。</p>

その他の支援

- ☐ 学校行事の支援： 運動会での随時支援
マラソン大会伴走
スキー教室指導支援
- ☐ 学習支援：本物体験（邦楽教室）
ミシン修理
竹細工指導（竹馬クラブ）
夏休み塾
昔遊び（1年生）
- ☐ 地域団体協議会とタイアップ
食育教育支援（2年生野菜苗植え）
総合的な学習支援
（5年生田植え、稲刈り、収穫祭）
炭焼き体験（4年生）
下校指導支援（1年生）

成果

- ◆保護者や地域に信頼される学校づくり
- ◆子どもの育ちに対して、責任を明確にしながら一緒に考えて考え、行動することができる
- ◆地域が学校の応援団
- ◆学校の活性化、教職員の意識改革
- ◆子どもの育ちに対して、学校や地域の責任を明確にしながら一緒に考えて考え、行動することができる
- ◆夢や希望、自己有用感、自己肯定感をもつ児童・生徒
- ◆ふるさとに愛着をもち、ふるさとに貢献する児童・生徒
- ◆生涯学習、地域のつながり、地域の活性化